

# 病院年報

第 51 号  
( 2021 )



川崎市立 井田病院

## 基本理念

川崎市立井田病院は、自治体病院として、市民に信頼され、市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。

### ❖ 運営方針

1. 川崎市立井田病院は、公立病院として地域住民の医療の要望に応えます。
2. 地域の病院や診療所とのつながりを大切にします。
3. 生活習慣病を中心とする専門性の高い医療を行います。
4. 市内唯一の結核病床を有する病院としての充実した機能の整備に努めます。
5. 地域におけるがん診療連携拠点病院としての役割を果たします。
6. 緩和ケアと在宅療養支援を柱に、地域包括ケアシステムを進めます。
7. あらゆる災害に対応できる病院としての役割を果たします。
8. 急に具合が悪くなった方のために、救急医療の体制の強化に努めます。
9. 井田山の美しい自然環境を活かし、ボランティア活動を通じて、地域の医療と文化のより所となります。
10. 医療従事者のより良い研修の場となるように、職員各人が医療水準の向上に努めます。
11. 病院経営の健全化に努めます。

## ❖ 診療方針

1. 温かい心、やさしい手、確かな技術を提供します。
2. 患者さん中心のチーム医療をすすめます。

## ❖ 患者さんの権利と責任

川崎市立井田病院では、「市民から信頼され、安心してかかれる病院づくり」の理念のもとに、質の高い医療の提供とサービスの向上に努めています。

そこで、最善の医療を行うために、「患者さんの権利と責任」を明記し、その実現に向けて、皆さまとともに歩んで行きたいと思えます。

1. 患者さんは、川崎市立井田病院で公平かつ最良の医療を受ける権利があります。
2. 患者さんは、病院での診療結果、治療の方法、予想される危険性、医療費など診療内容について、十分な説明や診療情報の提供を受ける権利、すなわち知る権利があります。
3. 患者さんは、十分な説明を受けたうえで、ご自身の意思で治療法を選択してください。そのために、カルテを含む診療情報の開示やセカンド・オピニオン（別の医師または別の医療機関の意見）を求める権利があります。
4. 患者さんには、法により必要とされるものを除き、ご自身の情報を承諾なしに第三者に開示されない権利があります。
5. 医療は患者さんと医療提供者がお互いに信頼し合い、協力して行っていくものであり、患者さんに求められる次のような責任があります。
  - ア. ご自身の心身や生活の情報について、医療提供者に出来るだけ正確に知らせる責任があり、また、ご自身の病気や医療について十分に理解するように努力する責任があります。
  - イ. 他の患者さんが医療を受けるための妨げにならないよう、社会的なルールや病院内の規則に従い、病院職員の指示を守る義務があります。



「財団法人 日本医療機能評価機構」による認定



## 刊行のことば

病院長 伊藤 大輔

2021年度は世界中を実に様々なニュースが駆け巡った1年でした。前年に世界規模での感染拡大を見せた新型コロナウイルスに対して画期的とも言えるワクチンの供給がはじまり、未曾有の規模での接種が進みましたが、ウイルスはデルタ株、オミクロン株等々変異を繰り返し、未だに収束の兆しを見せません。56年ぶり史上2度目の東京オリンピックは1年の延期を経て7月に原則無観客で開催されました。スポーツ観戦、各種会議・学会さらには一般企業の日常業務がリモートで行われるなど、新しいライフスタイルが普及した1年でもあります。東京オリンピックで我が国が過去最多の58個のメダルを獲得する一方、MLBでは大谷翔平選手が野球の歴史を変えるほどの大活躍を見せてMVPを獲得するなど明るい話題を提供してくれました。しかし夏季に引き続き開催されることになった北京の冬季オリンピックの開催と前後して平和の祭典をあざ笑うかのように、東欧では俄に戦雲が広がり、ロシアによる一方的なウクライナ侵攻と住民虐殺という身の毛のよだつ暴挙がなされ、未だにプーチン大統領の野望を抑える方途は見えません。感染症と戦争のない時代というのはまだまだ夢なのかもしれません。

井田病院を振り返ります。2020年に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対しては神奈川モデルの重点医療機関として全力を挙げて対応を続け、入院受入れ患者数は県下でもトップクラスにランクされております。またワクチン接種事業にも積極的に貢献し、職員はもとより、近隣医療機関・保健所・介護施設職員などへの接種も許される限り前向きに取り組んでまいりました。さらには川崎市や慶応義塾大学の大規模接種会場からのスタッフ派遣要請にも最大限対応いたしました。その間小規模な院内クラスターは発生しましたが、感染対策室と感染症内科を中心に全職員の協力を得て常に高い緊張感を維持しながら医療体制を保ち続けてきたことは誇るべきことと自負しております。

一方で外科系を中心に一時は緊急症例を除く待機的手術を延期せざるを得ないなど、本来の医療機能を制限する時期もあり、緩和ケア病棟を含む入院患者の面会制限など苦しい対応をせざるを得ませんでした。診療稼働状況もコロナ以前と比べて大きく落ち込み、回復に時間を要しております。次年度はこの状況を打破してコロナ診療と本来の病院機能の両立をテーマに公立病院としての責務を完遂していく所存です。

今回の年報には井田病院の苦闘の痕跡が深く刻まれておりますが、皆様には「決算のあらまし」をご覧ください、その中で例年になく多額の補助金が計上され、資金収支が大きく改善されている点こそが井田病院の苦闘への褒賞と理解していただければ幸いです。

# 目 次

## 基本理念

### 刊行のことば

#### I 病院の概要

1 施設の概要	1
2 診療部門	1
3 管理部門	2
4 病床数	2
5 病棟	2
6 病院の指定・認定	2
7 組織図	4
8 建物配置図	5
9 病棟等配置図	6
10 主要アクセス	7
11 沿革	8
12 三役人事の変遷	14
13 職員定数及び現員数(2021年4月)	16
14 主な委託業務	17
15 主要医療機器・備品	18

#### II 決算のあらまし

1 年度別収入収支状況	25
2 2021年度の決算	26
(1) 病院運営に係る収入支出	26
(2) 建設改良に係る収入支出	26
(3) 損益計算書	27
3 財産状況明細	28
4 主な経営分析	30

#### III 診療概要

1 科別患者状況	
(1) 外来	31
(2) 入院	31
2 病棟別利用状況	32
3 科別収入実績(2021年度)	
(1) 医業収益	33
(2) その他医業収益	33
4 地域別患者数	34
5 時間外急患診療状況	35
6 診療アウトカム	36
7 特定健診・市がん検診等受診者数	37

#### IV 各科(課)のあゆみ

##### 1 診療科

(1) 内科	39
(2) 呼吸器内科	41
(3) 循環器内科	42
(4) 血液疾患センター(血液内科)	42
(5) 腫瘍内科	43
(6) 糖尿病内科	44
(7) 腎臓内科	44
(8) 神経内科	45
(9) 感染症内科	45
(10) 消化器センター 肝臓内科・消化器内科	46
(11) 消化器センター 外科・消化器外科	47
(12) ブレストセンター(乳腺外科)	49
(13) 呼吸器外科	51
(14) 整形外科	51
(15) 脳神経外科	52
(16) 精神科	52
(17) リウマチ膠原病・痛風センター	54
(18) 皮膚科	54
(19) 泌尿器科・泌尿器内視鏡科	55
(20) 婦人科	56
(21) 眼科	57
(22) 耳鼻咽喉科	57
(23) 麻酔科	58
(24) 歯科口腔外科	59
(25) 救急総合診療センター	59
2 放射線診断科・放射線治療科	61
3 検査科・病理診断科	68
4 リハビリテーションセンター	72
5 内視鏡センター	73
6 MEセンター	74
7 透析センター	74
8 集中治療室	75
9 手術部	75
(1) ロボット手術センター	75

10 薬剤部	76	(1) 放射線診断科	129
(1) 調剤業務(内用・外用薬)	78	(2) 検査科	132
(2) 注射剤調剤業務	79	(3) 薬剤部	134
(3) 調剤業務	80	(4) 看護部	136
(4) 薬剤管理指導業務	80	(5) 食養科	137
(5) 無菌製剤処理業務	81	(6) リハビリテーションセンター	139
(6) 持参薬鑑別 年度別総件数	82	(7) 地域医療部・ 在宅緩和ケアセンター	140
11 看護部	83	2 実習指導	141
(1) 人事・組織	83	(1) 食養科	141
(2) 主な行事など	83	(2) 薬剤部	141
(3) 看護部の現状	84	(3) 看護部	141
師長会	86	(4) 教育指導部	142
主任会	87	<b>VII 委員会</b>	
副主任会	88	委員会一覧	143
教育委員会	89	1 医療安全管理委員会	145
安全管理委員会	90	2 医療安全部会	145
感染管理委員会	90	3 院内感染対策委員会	145
記録委員会	91	4 感染対策部会	145
働きやすい職場づくり委員会	92	5 輸血療法委員会	146
スペシャリスト班	92	6 放射線安全委員会	147
退院調整班	93	7 医療ガス安全管理委員会	148
認知症ケア班	93	8 衛生委員会	148
がん看護緩和ケア	94	9 働き方改革推進委員会	149
12 食養科	95	10 薬事委員会	150
13 教育指導部	98	11 医療機器管理委員会	150
14 地域医療部	100	12 透析機器安全管理委員会	151
15 医療安全管理室	104	13 医療放射線管理委員会	151
16 感染対策室	105	14 医療事故防止対策委員会	152
17 医事課	106	15 治験・臨床研究倫理審査委員会	152
18 在宅緩和ケアセンター	106	16 倫理委員会	152
(1) 緩和ケア病棟	109	17 保険委員会	152
(2) 医療相談部門	109	18 D P C 委員会	153
(3) 在宅ケア部門	111	19 診療情報管理委員会	153
(4) がん相談支援センター	112	20 診療録管理委員会	153
<b>V 業績目録</b>		21 救急医療運営委員会	154
1 著書・論文・投稿	115	22 当直検討部会	154
2 学会発表	118	23 災害時医療等委員会	154
3 講演・講師派遣	124	24 地域連携委員会	155
<b>VI 研修・実習</b>			
1 研修会			

25	地域がん診療連携拠点病院 推進委員会	156
26	キャンサーボード	158
27	化学療法管理委員会	159
28	クリニカルパス委員会	159
29	褥瘡対策委員会	159
30	N S T (栄養サポートチーム) 運営委員会	159
31	嚥下・口腔サポートチーム部会	160
32	給食委員会	160
33	職員研修委員会	161
34	研修管理委員会	162
35	看護師特定行為研修部会	162
36	図書委員会	162
37	機種・診療材料選定委員会	162
38	市民交流・サービス向上委員会	163
39	ホームページ・広報委員会	165
40	臨床検査管理委員会	165
41	外来診療委員会	165
42	手術部委員会	166
43	H C U委員会	166
44	院内がん登録運用委員会	166
45	地域包括ケア病棟運営委員会	167
46	緩和ケア委員会	168
47	がんサポート・緩和ケア部会	174
48	病床管理運営委員会	175
49	ハラスメント防止対策委員会	175
50	糖尿病サポートチーム運営委員会	175
51	認知症ケア運営委員会	175

## VIII 取得図書

1	利用統計	177
2	単行書受入	177
3	EBMツール	177
4	文献検索ツール	177
5	電子書籍ツール	177
6	現行受入雑誌(洋雑誌)	177
7	現行受入雑誌(和雑誌)	177

## 編集後記



# I 病院の概要

(2021年4月1日現在)



## 1 施設の概要

所 在 〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田2丁目27番1号

電 話 044(766)2188 (代表)

F A X 044(788)0231

敷地面積 36,702.037 m<sup>2</sup>

建築面積 10,745.37 m<sup>2</sup>(うち、別館 1,473.090 m<sup>2</sup> 保育所 335.37 m<sup>2</sup> 倉庫 84.18 m<sup>2</sup>  
立体駐車場 2,185.66 m<sup>2</sup>)

延床面積 39,480.45 m<sup>2</sup>(うち、別館 3,283.380 m<sup>2</sup> 保育所 308.15 m<sup>2</sup> 倉庫 168.36 m<sup>2</sup>  
立体駐車場 2,932.97 m<sup>2</sup>)

## 2 診療部門

### 診療科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、感染症内科、人工透析内科、肝臓内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科

### 専門外来

#### 【内科】

消化器、肝臓、リウマチ、神経、腎臓、腎機能改善、呼吸器、禁煙、在宅酸素、循環器(心臓)、ペースメーカー、不整脈、睡眠時無呼吸症候群、感染症、渡航前予防相談、糖尿病、内分泌、血液、腫瘍

#### 【外科】

大腸ポリープ、ストーマ、胆石、ヘルニア、血管、心臓血管

#### 【整形外科】

装具、脊椎、足の外科

#### 【婦人科】

家族性腫瘍相談、婦人科内視鏡、女性健康

#### 【泌尿器科】

尿失禁、膀胱鏡・ESWL(体外衝撃波結石破砕)

#### 【歯科口腔外科】

顎関節・口腔顔面痛

#### 【耳鼻咽喉科】

難聴、喉頭、補聴器

### その他

検査科、MEセンター、薬剤部、食養科、看護部、集中治療室(HCU)、手術部、内視鏡センター、化学療法センター、リウマチ膠原病・痛風センター、教育指導部、地域医療部、臨床研究支援室、健康管理室、リハビリテーションセンター、救急センター、感染対策室、医療安全管理室

### 3 管理部門

事務局（庶務課・医事課）

### 4 病床数

383床（一般病床 343床、結核病床 40床）

### 5 病棟

本館 一般病床及び結核病床  
緩和ケア病棟 一般病床（緩和ケア病床）

### 6 病院の指定・認定

#### （1）法令等による指定

保険医療機関

労災保険指定医療機関

指定自立支援医療機関（更生医療）

指定自立支援医療機関（精神通院医療）

身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関

精神保健指定医の配置されている医療機関

生活保護法指定医療機関

結核指定医療機関

被爆者一般疾病指定医療機関

被爆者認定疾病指定医療機関

感染症指定医療機関

公害医療機関

臨床研修指定病院

地域がん診療連携拠点病院

エイズ治療拠点病院

難病指定医療機関

DPC対象病院

指定小児慢性特定疾病医療機関

神奈川県災害協力病院

神奈川DMAT-L指定病院

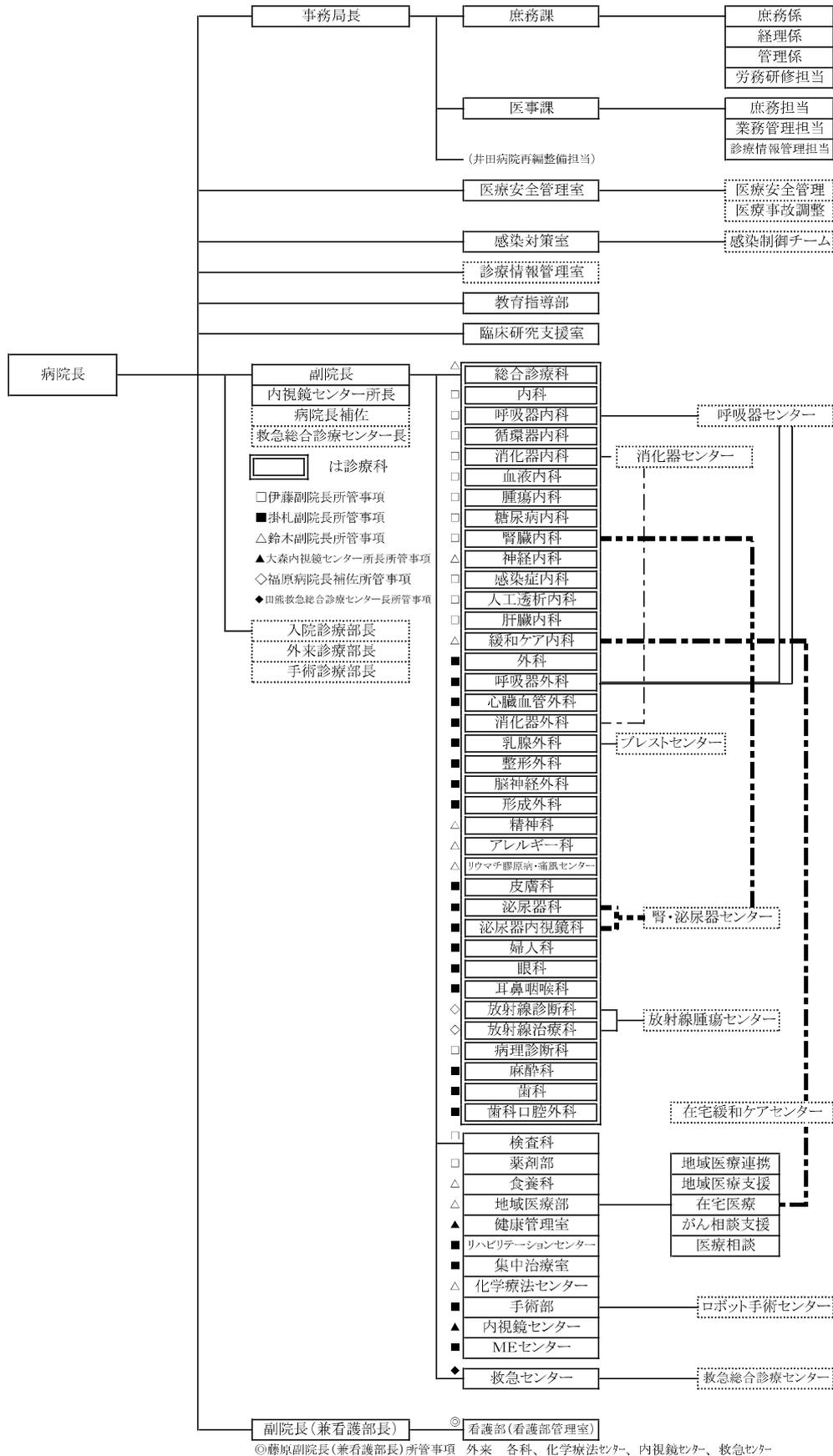
神奈川県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

在宅療養後方支援病院

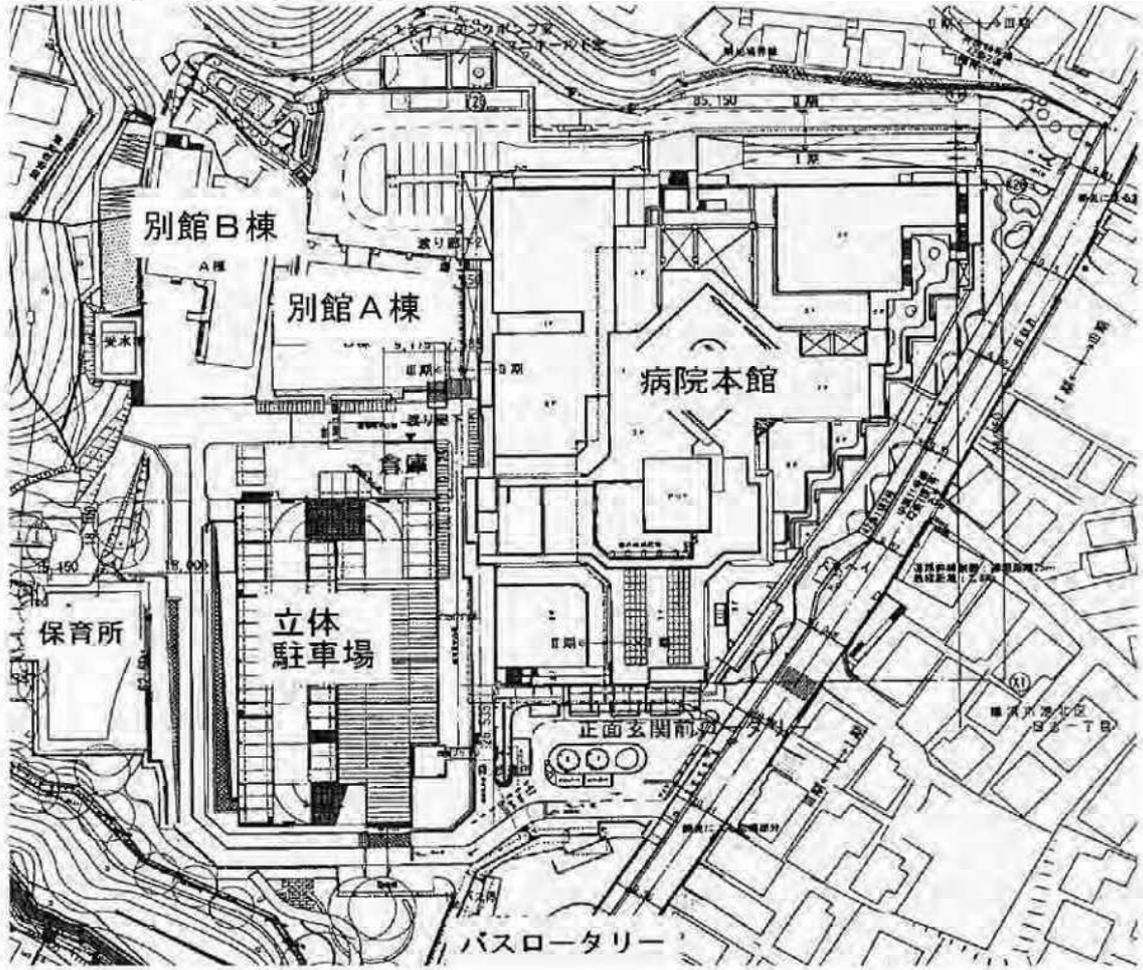
## (2) 学会による認定

日本内科学会認定医制度教育病院  
日本整形外科学会専門医研修施設  
日本消化器外科学会専門医修練施設  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本呼吸器学会認定施設  
日本リウマチ学会教育施設  
日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医研修施設  
日本糖尿病学会認定教育施設  
日本消化器内視鏡学会指導施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本腎臓学会研修施設  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設  
日本透析医学会専門医制度認定施設  
日本高血圧学会専門医認定施設  
日本緩和医療学会認定研修施設  
日本感染症学会研修施設  
日本消化器病学会認定施設  
日本大腸肛門病学会認定施設  
日本臨床細胞学会認定施設  
日本臨床細胞学会教育研修施設  
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設  
日本病理学会研修認定施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本口腔顔面痛学会研修施設  
日本顎関節学会顎関節症専門医関連研修施設  
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（咽喉系）  
日本口腔外科学会認定准研修施設  
日本リハビリテーション医学会研修施設  
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設  
日本脈管学会認定研修関連施設

7 組織図 (2021年4月1日現在)



8 建物配置図 (2021年4月現在)



## 9 病棟等配置図（2021年4月現在）

本 館		
	東	西
7階	透析センター	病棟（腎・泌尿器系）
6階	病棟（呼吸器系）	病棟（結核）
5階	病棟（循環器・内科系）	病棟（消化器系）
4階	病棟（内科・混合外科）	病棟（地域包括ケア病棟）
3階	手術室 HCU・CCU MEセンター	病棟（救急後方病床）
2階	外来部門 リハビリセンター 化学療法センター 内視鏡センター 検査科 院長室 副院長室 診療部長室 医局 研修医室 庶務課 看護部管理室 師長室 感染対策・医療安全管理室 図書室 レストラン 売店 会議室	
1階	総合受付 外来部門 救急センター 画像診断受付 検体検査室 生理機能 検査室 医事課 地域医療部 診療情報管理室 在宅訪問医療 防災センター	
地階	画像診断受付 放射線治療 MRI検査室 CT検査室 アイソトープ検査室 おくすりお渡し窓口 薬剤部 食養科 物品SPD リネンセンター ベッドセンター 中央監視室 機械室	

別 館（●は外部運営）		
	A棟	B棟
2階	緩和ケア病棟	緩和ケア病室 家族室 サンルーム
1階		●訪問看護ステーション井田 ●いだ地域包括支援センター
地階		研修室 機械室

※6階西病棟（結核）は、コロナ患者受入れ病棟として使用。

## 10 主要アクセス

### ◆バス

#### 【井田病院】下車

J R南武線「武蔵新城」南口：市営バス(川 68 系統)「井田病院」行 約 17 分

J R南武線、東急東横線・目黒線「武蔵小杉」東口

：市営バス(杉 01、02 系統)「井田病院」行 約 17 分

J R横須賀線「武蔵小杉」：市営バス(杉 01、02 系統)「井田病院」行 約 23 分

J R南武線・京浜東北線・東海道線「川崎」西口

：市営バス(川 66 系統)「井田病院」行 約 43 分

東急田園都市線「宮前平」：市営バス(城 11 系統)「井田病院」行 約 25 分

東急東横線・目黒線「元住吉」：市営バス(川 66 系統)「井田病院」行 約 11 分

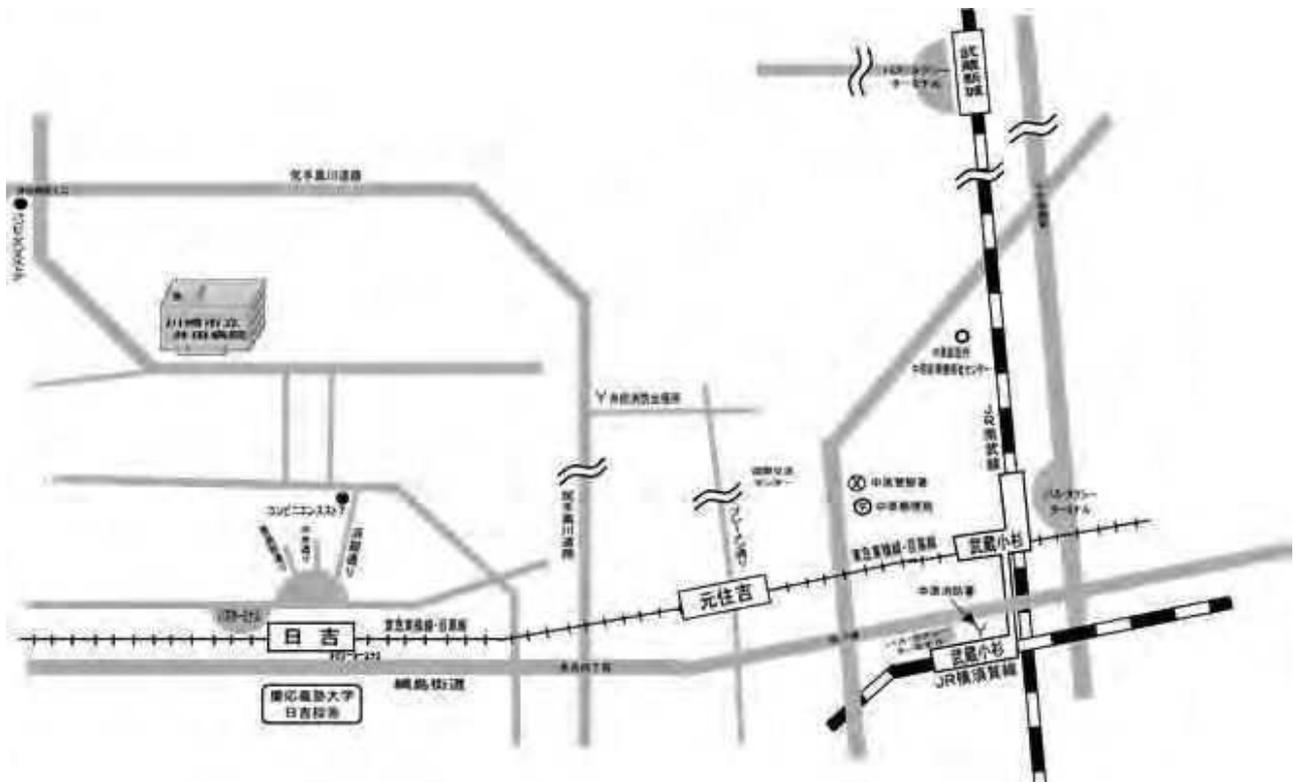
#### 【井田病院正門前】下車

東急東横線・目黒線、横浜市営地下鉄「日吉」

：東急バス(日 23 系統)「さくらが丘」行 約 5 分

### ◆徒歩・タクシー

東急東横線・目黒線、横浜市営地下鉄「日吉」 徒歩約 15 分・タクシー約 5 分



## 11 沿革

昭和 24 年 (1949)	3 月	昭和 20 年 8 月に発足されたが一時閉鎖されていた法定伝染病院を、病床(50 床)使用許可を受け川崎市立井田病院として開設
	6 月	保有病床 50 床のうち 40 床を結核病床とし 10 床を伝染病床とする
昭和 26 年 (1951)	1 月	伝染病床 10 床を結核病床に用途変更、結核専門診療機関となる
昭和 27 年 (1952)	3 月	A・B・C 病棟(木造平屋建 100 床)完成、昭和電工より結核病棟委託
昭和 30 年 (1955)	3 月	D 病棟(木造平屋建、50 床)完成
昭和 33 年 (1958)	4 月	外来診療開始
	10 月	基準給食実施
昭和 35 年 (1960)	5 月	本館 (I 号棟鉄筋コンクリート 3 階建 70 床)完成
昭和 36 年 (1961)	7 月	看護婦宿舎 4 寮(木造平屋建)完成
昭和 40 年 (1965)	9 月	基準寝具実施
	12 月	一般診療(成人病)開始
	〃	病室用途変更し、一般 15 床、結核 258 床とする
昭和 43 年 (1968)	5 月	本館 (I 号棟)4 階増築 (鉄筋コンクリート建、54 床)
昭和 44 年 (1969)	12 月	公害病認定検査病院に指定
昭和 45 年 (1970)	7 月	病理解剖室・動物飼育室(木造平屋建)完成
	12 月	現 II 号棟(鉄筋コンクリート地下 1 階、地上 5 階建、155 床)完成
昭和 46 年 (1971)	3 月	看護婦宿舎(鉄筋コンクリート 3 階建、5 室)完成
	7 月	I 号棟(旧本館、182 床)改造完成、B・C・D 病棟廃止
	10 月	日本脳神経外科学会専門医制度指定訓練場所となる
昭和 47 年 (1972)	2 月	研究棟整備
	5 月	血液透析開始(慢性 4 床、急性 1 床)
	7 月	小児ぜん息病棟開設(鉄筋コンクリート 3 階建、48 床)
昭和 48 年 (1973)	5 月	C・C・U 棟(8 床)完成、内科学会認定教育関連病院に指定
昭和 50 年 (1975)	3 月	II 号棟増築分(現 II 号棟東鉄筋コンクリート 5 階建、100 床)完成
	7 月	III 号棟(鉄筋コンクリート地下 1 階地上 4 階建、133 床)完成
昭和 51 年 (1976)	6 月	腎センター改造完成(慢性 8 床、急性 2 床)
昭和 52 年 (1977)	6 月	C・C・U 病棟業務開始
昭和 53 年 (1978)	3 月	外来窓口会計及び保険請求業務電算化実施
	11 月	霊安解剖室完成
昭和 54 年 (1979)	2 月	入退院精算及び保険請求業務電算化実施
	7 月	I 号棟改造により許可病床 610 床となる
昭和 55 年 (1980)	1 月	日本外科学会認定医制度修練施設となる
	5 月	保健医療部を設置
	7 月	日本臨床病理学会認定病院となる
昭和 56 年 (1981)	3 月	看護婦宿舎(鉄筋コンクリート 5 階建)完成
	6 月	許可病床 550 床となる
	12 月	重病者の看護及び収容基準 15 床許可
昭和 57 年 (1982)	4 月	〃 1 床追加
昭和 58 年 (1983)	4 月	日本整形外科学会認定制度研修施設となる
	10 月	許可病床 556 床となる
	11 月	作業療法実施承認
昭和 59 年 (1984)	3 月	I 号棟 1 階改造完成
	9 月	研究棟廃止(駐車場整備)
昭和 60 年 (1985)	5 月	在宅酸素療法実施承認
	7 月	優生保護法指定医認定
	9 月	許可病床 558 床となる
	10 月	肢体機能訓練用プール完成
昭和 61 年 (1986)	1 月	日本消化器外科学会専門医認定修練施設となる
	4 月	日本泌尿器科専門医教育施設となる
	6 月	重症者の看護基準 10 床追加(看護及び収容基準 26 床となる)
	8 月	在宅中心静脈栄養療法指導管理の実施届出

	12月	自己腹膜灌流指導管理の実施届出
昭和 62年(1987)	4月	川崎市在宅心身障害者短期期間入所事業の委託医療機関に指定
昭和 63年(1988)	4月	在宅自己導尿指導管理の実施届出
	〃	在宅経営栄養法指導管理の実施届出
	〃	人工腎臓水処理加算の実施届出
	〃	老人作業療法実施承認
	11月	労災保険指定医療機関となる
	12月	労災アフターケア施設となる
平成元年(1989)	5月	Ⅱ号棟CCU(7床)がICU・CCU(延10床)となり、Ⅲ号棟地下へ移転
	9月	循環器シネ撮影、DSA用アンギオシステム導入
	12月	ICU・CCUの基準看護が特3類として承認される
平成2年(1990)	3月	警備室建替工事完了
	5月	在宅寝たきり患者処理指導管理科の届出
	12月	体外衝撃波結石破碎装置購入
平成3年(1991)	2月	日本大腸肛門病学会専門医修練施設となる
	3月	電子内視鏡システム導入
	6月	体外衝撃波、腎尿管結石破碎術承認
	12月	放射性同意元素等許可使用に係る事項の許可
平成4年(1992)	3月	直線加速装置更新に伴うリニアックの構造設備使用許可の認可
	8月	体外衝撃波胆石破碎術の施設基準に係る承認
	〃	基準看護承認(結核、精神特1類(Ⅱ))
平成6年(1994)	2月	基準看護特3類承認(Ⅱ-西4病棟)
	3月	在宅療養指導実施届出
	4月	日本胸部疾患学会認定医制度認定施設(内科系)となる
	〃	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設となる
	7月	MR装置導入
	〃	基準看護特3類承認(Ⅱ-西病棟他7病棟)
	〃	胸腔鏡下肺切除術施設基準届出
	8月	病衣貸与施設届出
	〃	高度難聴指導管理料施設基準届出
	10月	療養環境加算届出(Ⅲ-2病棟)
	〃	食堂加算(Ⅳ号棟)届出
	〃	新看護料 2:1看護A届出13病棟(一般) 3:1看護A届出1病棟(結核)
	11月	夜間勤務等看護加算届出
	〃	理学療法(Ⅱ)施設基準届出
	12月	モデル緩和ケア病床(4床)実施
	〃	I号棟4階(結核)開設(I号棟3階から移床)
平成7年(1995)	2月	腎センター拡充オープン(10床→16床)
	〃	I号棟改修(外壁・内部改修)
	5月	日本呼吸器学会専門医制度関連施設となる
	6月	入院時食事療養等届出(特別管理)
	9月	日本リウマチ学会認定施設となる
平成8年(1996)	2月	I号棟3階病棟(呼吸器科52床)開設
	〃	Ⅱ号棟西5階移床(Ⅱ号棟西3階へ)
	3月	重症者療養環境特別加算病床変更(16床→26床)
	4月	川崎総合ケアセンター準備担当発足
	〃	新「霊安室」完成
	〃	画像診断管理施設基準届出
	〃	院内感染防止対策加算届出
	〃	検体検査管理加算届出
	〃	夜間勤務等看護(Ⅰ)加算届出
	8月	小児ぜん息児童全員退院

	11月	Ⅱ号棟西5階病棟内部改修完了
	〃	Ⅱ号棟西4階移床(Ⅱ号棟西5階へ、9年3月まで)
平成8年(1996)	12月	麻酔管理料届出
	〃	日本気管支学会認定医制度指定施設関連施設となる
平成9年(1997)	3月	Ⅳ号棟あおぞら学園閉園
	4月	日本神経学会認定医制度教育関連施設となる
	〃	衛生局と民生局の統合により健康福祉局の所属となる
	5月	薬剤管理指導料届出
	6月	肢体機能訓練用プール取り壊し
	〃	Ⅳ号棟をかわさき総合ケアセンターに改築着手
	8月	建物耐震診断実施
	〃	日本胸部学会認定制度指定施設関連施設となる
平成10年(1998)	2月	医事課会計システム更新
	3月	廃棄物置場改修
	〃	Ⅲ号棟耐震性愛水槽設置(震災対策)
	〃	Ⅰ・Ⅱ号棟窓ガラス飛散防止工事(震災対策)
	〃	生化学自動分析システム導入
	4月	看護部メッセージ業務外部委託
	10月	かわさき総合ケアセンター(井田老人デイサービスセンター含む)開設 (準備担当解散)
	〃	日本乳癌学会研修施設となる
	11月	緩和ケア病棟施設基準届出
	12月	Ⅰ号棟空調用熱源装置改修工事完了
平成11年(1999)	1月	許可病床552床に変更(精神6床減)
	3月	Ⅱ号棟東1階食養科控室をⅠ号棟へ移動
	〃	ヘリカルCT導入
	4月	歯科診療室移動(Ⅰ号棟1階へ)
	〃	標榜科より神経科を廃止
	〃	保健医療部を廃止
	5月	夜間看護加算変更届出(西-3病棟 a→b)
	11月	日本透析医学学会認定医教育関連施設となる
平成12年(2000)	2月	井田病院開院50周年式典
	3月	平成11年度包括外部監査結果報告
	〃	臨床研修病院(病院群)の指定を受ける
	〃	電話交換機改修工事完了
	4月	かわさき総合ケアセンター(在宅医療部門)介護保険事業所指定
平成13年(2001)	3月	Ⅱ・Ⅲ号棟内部改修工事完了
	〃	病院基本理念となる、「市民から信頼され、市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」というテーマが決定
	7月	全国公立連盟関東・中部支部会議開催 (開催病院 井田病院 「ホテル ザ・エルシィ」に於いて)
	9月	井田病院敷地内に中原区「市民健康の森」オープン
平成14年(2002)	3月	Ⅲ号棟3・4階内部改修工事完了
	9月	救急医療体制の整備(試行)実施
	11月	内視鏡室内部改修
平成15年(2003)	2月	Ⅱ号棟東5階内部改修。 (Ⅰ号棟3階病棟を休床とし、Ⅱ号棟東5階病棟の稼働を開始)
	6月	薬剤の「院外処方」の本格実施
	7月	「女性専用外来」の新設
平成16年(2004)	2月	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価」を受審
	4月	許可病床443床に変更
	〃	井田病院がんセンター開設
	〃	「禁煙外来」の新設

	10月	2泊3日糖尿病教育入院の新設
平成 17年(2005)	4月	地方公営企業法全部適用への移行(川崎市病院局の設置)
	〃	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価」認定を取得
	6月	午後外来(内科及び外科・消化器科)の開始
	7月	土曜日外来の開始(第1・3土曜日開設)
	8月	医事課内に地域医療連携担当(地域医療連携室)を設置
	9月	新MR装置の導入
平成 18年(2006)	3月	「川崎市立井田病院再編整備基本構想」の策定
	4月	「めまい・難聴外来」の開設
	〃	井田病院再編整備担当の設置(病院局配置)
	〃	かわさき総合ケアセンターの井田老人デイケアセンターが指定管理者制度に移行
	8月	「地域がん診療連携拠点病院」に認定
	〃	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価(緩和ケア病棟)」の認定を取得
	12月	「武蔵小杉駅⇄井田病院間 患者送迎用無料シャトルバス」の試行運転を開始
平成 19年(2007)	3月	「川崎市立井田病院再編整備基本計画」の策定
	6月	「メタボ外来」の開設
平成 20年(2008)	3月	『川崎市立井田病院基本設計』の策定
	10月	かわさき総合ケアセンター10周年(報告会の開催・記念誌の発行)
平成 21年(2009)	3月	総合医療情報システム(オーダーリングシステム)の稼働
	6月	DPC導入に向けた取組開始(DPC準備病院の適用)
	8月	I号棟解体・新病院建設着工
	〃	新型インフルエンザ(H1N1)大流行 (再編整備事業に伴い、保育室建物を感染症診察室へ転用)
平成 22年(2010)	2月	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価」の更新審査
	3月	「地域がん診療連携拠点病院」認定更新
	4月	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価(ver.6.0)」の更新認定
	12月	救急病院指定
平成 23年(2011)	2月	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価」における「付加機能(緩和ケア機能)」の更新審査
	3月	東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)
	4月	DPC対象病院の適用 結核病床数40床へ変更(18床減)
	6月	(財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価」における「付加機能(緩和ケア機能)ver.2.0」の更新認定
	10月	NPO法人卒後臨床研修評価機構認定受審
平成 24年(2012)	1月	NPO法人卒後臨床研修評価機構認定取得 新棟第I期竣工
	4月	医事課内の地域医療連携担当を廃止し、地域医療部を設置
	5月	新棟一部開院 総合医療情報システム(電子カルテ)の稼働 歯科口腔外科診療開始 眼科診療開始 コンシェルジュ導入
	7月	II号棟、旧・新看護宿舎等解体工事、新棟II期建物着工
	8月	許可病床383床に変更(一般病床42床減)
	11月	医師事務作業補助者導入
	12月	リウマチ膠原病・痛風センター開設
平成 25年(2013)	1月	ほっとサロンいだ開設
	10月	7:1入院基本料算定

	11月	NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定受審
平成 26 年 (2014)	1月	神奈川県救急医療功労者表彰 (井田病院)
	〃	NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定更新
	4月	家族性腫瘍相談外来開設
	5月	緩和ケア病棟 (PCU) 3床増床 (一般病床数変更なし)
	12月	新棟第Ⅱ期竣工
平成 27 年 (2015)	1月	内視鏡センター、化学療法センター移転
	2月	Ⅱ期工事竣工記念式典、内覧会
	3月	全面移転実施 (移転完了)、救急センター開設、3号棟閉鎖
	〃	神奈川県災害協力病院指定
	〃	「地域がん診療連携拠点病院」認定更新
	4月	新棟全面開院
	〃	CT 導入 (2台体制)
	10月	NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定受審
	11月	(公財) 日本医療機能評価機構の「病院機能評価 (3rdG; ver1.1)」の更新審査
平成 28 年 (2016)	1月	NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定更新
	2月	(公財) 日本医療機能評価機構の「病院機能評価 (3rdG; ver1.1)」の更新認定
	3月	神奈川DMAT-L 指定病院指定
	〃	「武蔵小杉駅⇄井田病院間 患者送迎用無料シャトルバス」の試行運転を終了
	5月	手術支援ロボット (ダ・ヴィンチ) の導入
	8月	HCU 施設基準届出
	10月	5階東病棟に無菌治療室を設置
	11月	地域包括ケア病棟 (4階西病棟) の稼動開始
平成 29 年 (2017)	4月	かわさき総合ケアセンターの組織を整理し実質的に地域医療部に統合
	7月	「渡航者外来」の開設
	〃	立体駐車場の仮供用開始
	11月	NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定受審
	12月	立体駐車場供用開始及び有料化
	〃	市バスロータリー移設
	〃	院内保育所移設
	〃	Ⅳ期斜面防護等整備工事着工
平成 30 年 (2018)	1月	NPO 法人卒後臨床研修評価機構認定更新
	3月	Ⅲ期工事竣工
	4月	看護部在宅医療担当を地域医療部に統合
	7月	入院セット導入
	8月	胃がんのロボット手術開始
平成 31 年 (2019)	1月	MRI 装置更新・検査開始
	4月	市立川崎病院救命救急センターとの連携により「救急総合診療センター」設置
	〃	「地域連携の会～開設 70 周年～」開催
令和元年 (2019)	5月	皮膚科外来移転 (1 階から 2 階へ)
	6月	外来の休診・代診情報をホームページに公開
	7月	地域包括ケア病棟にて院内デイサービス開始
	8月	「在宅療養後方支援病院」届出受理
	12月	Ⅳ期斜面防護等整備工事完了
令和 2 年 (2020)	1月	(公財) 日本医療機能評価機構の「病院機能評価 (3rdG; ver2.0)」の更新審査
	2月	神奈川県からの要請によりダイヤモンド・プリンセス号乗船者の新型コロナウイルス感染症陽性患者 6 名を受入
	4月	6階西病棟 (結核病床) 40 床を新型コロナウイルス陽性患者受入病床

- に整備
- // 電話による院外処方箋発行を開始
  - // (公財)日本医療機能評価機構の「病院機能評価(3rdG;ver2.0)」の更新認定
  - 5月 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた神奈川県の新たな医療体制「神奈川モデル」の「重点医療機関」に認定
  - 6月 一般企業及び高齢者福祉施設向けの出前講座を開始
  - 11月 地域医療部移転(1階渡り廊下付近から医事課隣へ)
  - 令和3年(2021)3月 院内医療従事者等への新型コロナワクチン接種開始
  - // かわさき総合ケアセンター廃止
  - 4月 市内医療従事者等への新型コロナワクチン接種開始
  - // 公式ツイッターアカウント開設
  - 7月 Web市民公開講座公開開始
  - 8月 病院敷地内広場(バスロータリー隣)及び健康の森へ続く歩道の利用開始
  - 11月 総合医療情報システム(電子カルテ)更新
  - // 高精度放射線治療システム(リニアック)稼働
  - 12月 NPO法人卒後臨床研修評価機構認定訪問調査受審
  - 令和4年(2022)1月 NPO法人卒後臨床研修評価機構認定更新